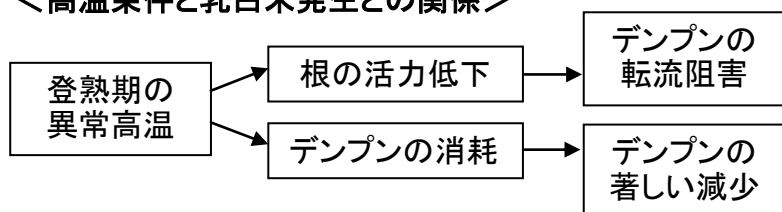


高温障害対策情報 (2014年)

乳白米発生の原因

出穂から出穂後 15 日の気温が高い場合に乳白米が発生しやすいことがわかっています。

＜高温条件と乳白米発生との関係＞



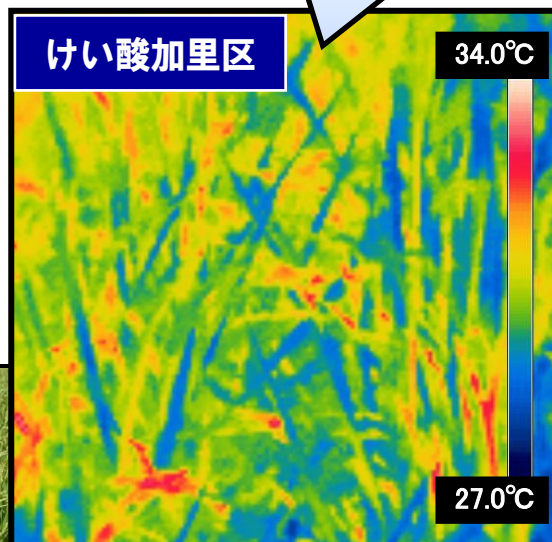
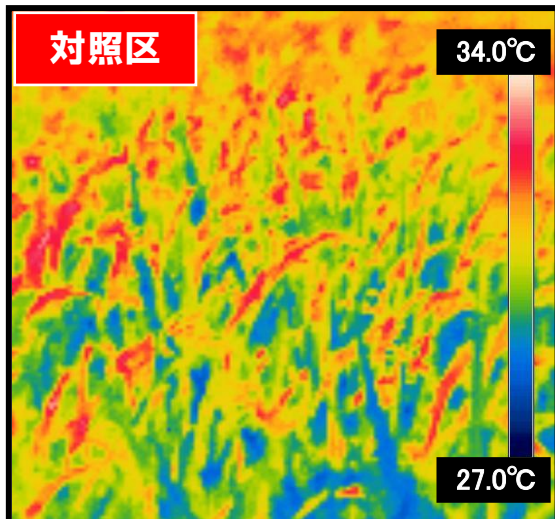
乳白粒の断面

(森田, 2005, 一部抜粋)

高温障害に強い稲づくりに効果的な「けい酸加里」

稲の赤外線写真(サーモグラフィー比較)

けい酸加里区は温度が低い!



普通の写真



(平成25年8月22日撮影 新潟県村上市)

○けい酸加里でケイ酸とカリを補給

水稻は気温が高い場合、カリ、次いでケイ酸の吸収が悪くなります。ケイ酸とカリの十分な施用が丈夫な稲体づくりに不可欠です。

「けい酸加里」は効果の高いケイ酸とカリを同時に施肥でき効果的です。

「けい酸加里」による高温障害軽減効果

けい酸加里施用で根量が増え、根の活性も高まる



H25 年度けい酸加里根量調査（新潟県村上市）

そうすると…

根の水や肥料分の吸収が良くなる

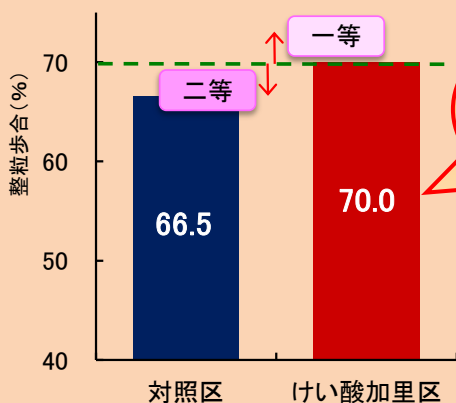
気孔の開閉がスムーズになり蒸散が多くなる

葉の温度が高くなるのを防ぐ
【クーラー効果】

光合成が活発になり、
でんぷんのモミへの蓄積が良くなる

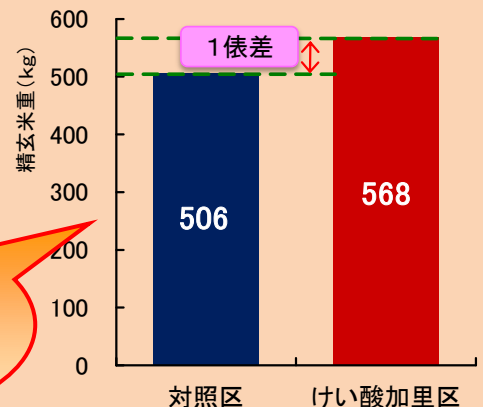
結果

H25 年度けい酸加里普及展示圃結果（村上農業普及指導センター）



整粒歩合が
高くなり
一等米
になりました

収量が
一俵 (60kg)
アップしました



○けい酸加里の使い方

★基肥施用の場合

40 kg～60 kg/10a 耕起前に施肥

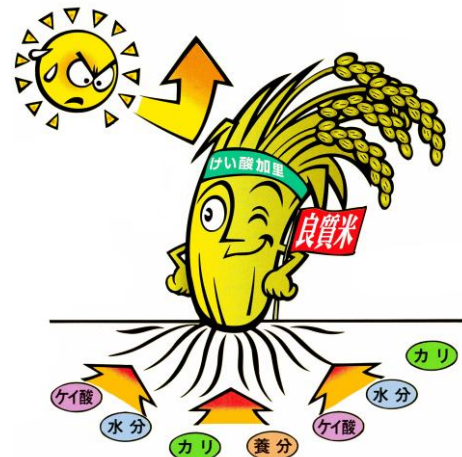
★中間追肥の場合

20 kg～40 kg/10a 出穂前 40 日頃に施肥

保証成分			
＜溶性加里	可溶性ケイ酸	＜溶性苦土	＜溶性ほう素
20	34	4	0.1



◎「けい酸加里」の施用で
高温障害に強い稲づくりをしましょう。



開発肥料㈱ 2014. 7